

特集② 希少種「イタセンパラ」の保護について

イタセンパラという名前の魚をご存じでしょうか。その名前から、外国産の種であるように思われますが、日本固有のタナゴの一種です。体は薄平べったく体高が高いのが特徴で、大きさは10cm程度とタナゴ類では大型になる種です。寿命は約2年といわれています。産卵期の雄は体全体が美しい紫紅色を帯び、イタセンパラ(板鮮腹)の和名の由来はその姿形からと思われます。日本産のタナゴ類は15種類が知られていますが、近年多くの種の個体数が減少しており、2007年版レッドリストには13種ものタナゴ類が掲載されています。イタセンパラの生息域は濃尾平野、富山平野、淀川水系の3地域が知られていますが、いずれの地域においても分布域の縮小や個体数の減少が起きています。このためイタセンパラはレッドリストにおいて最も絶滅の恐れが高い「絶滅危惧IA類」に位置づけられており、その希少性から絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき「国内希少野生動植物種」に指定され、捕獲などが禁止されています。

タナゴ類は淡水性の二枚貝のえらの中に卵を産み付けます。



産卵管の伸びたイタセンパラ雌(提供: アクアトぎふ)

生み付けられた卵は貝の中で孵化し、ある程度の大きさまで成長すると貝の中から外に泳ぎ出てきます。多くのタナゴ類では、産卵期は春から初夏にかけてですが、イタセンパラを含む少数のタナゴ類は秋に産卵します。その卵は孵化後に一旦発生を止め、貝の中で冬を越して翌年春に水温が上昇することをきっかけとして発生を再開し、稚魚が貝から出てくるという特殊な繁殖生態を持っています。貝から出てきたイタセンパラの稚魚は、動物プランクトンを食べていますが、成長に伴い珪藻などの植物を食べようになります。秋までに大量の餌を食べて一気に成長し、産卵期を迎えます。



婚姻色のイタセンパラ雄(提供: アクアトぎふ)

イタセンパラの生息する環境は、河川中下流部の川岸にできたワンドと呼ばれる入り江状のよどみや、タマリと呼ばれる河川敷内の水たまりなどです。濃尾平野では、かつては農業用水路などでも生息が確認されていましたが、現在は木曽川でのみ生息が確認されています。木曽川におけるイタセンパラの生息環境は、近年大きな変化が起きています。かつて行われた河川流域での過剰な地下水の汲み上げや河道内での砂利採取等によって河床が低下し、イタセンパラの生息するワンドやタマリが洪水の影響を受けにくくなりました。その結果、植物の繁茂が進み、泥や植物の葉などが堆積して、水質悪化や河床の泥の腐敗が進んでいます。また、オオクチバスやブルーギルなどによる捕食、タイリクバラタナゴとの二枚貝を巡る競合など外来魚類の影響も大きいと考えられます。加えて心ないマニアによる密漁が発生するなど、木曽川に生息するイタセンパラを取り巻く環境は厳しい状況にあると言えます。

こうした状況を受け、関係機関によるイタセンパラ保護の取り組みが徐々に始まっています。国土交通省では、ワンドやタマリの環境を改善するため、底泥の除去や外来種の駆除などに取り組んでいます。環境省では、本年度より岐阜県世界淡水魚園水族館(アクアトぎふ)の協力を得て、木曽川に生息するイタセンパラを捕獲し、施設において繁殖させる「生息域外保全」に取り組むべく準備を進めているところです。

また今年3月には、密漁対策や保全の啓発等を目的として、関係機関や学識者により構成される「木曽川イタセンパラ保護協議会」が発足しました。本協議会では、4月13日に第1回合同パトロールを開催し、木曽川河川敷をパトロールするとともに、河川の利用者の方々にチラシを配布し、不審者を見つけた場合の連絡などについて協力を求めました。



第1回合同パトロールの様子

今後協議会では、合同パトロールや地域住民の方々を対象とした勉強会などの取り組みを予定しています。

環境省では、今後も関係機関と連携してイタセンパラの保護に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

協議会が作成したチラシ

国の天然記念物
イタセンパラを守ろう

イタセンパラはどんな魚? (What is Itasenpara?)

絶滅危惧IA類に指定されています (Designated as Critically Endangered IA Category)

絶滅危惧IA類とは? (What is Critically Endangered IA Category?)

- 絶滅がかけない種(いんや種)
- 絶滅シヤにシヤ
- 絶滅シヤし、絶滅シヤ
- ワンドで生物(魚や貝)を探している

外来魚類の侵入防止 (Prevention of Invasive Species)

密漁は犯罪です! (Illegal Fishing is a Crime!)

密漁にシヤする者、密漁教育活動をおこなっています (Those who engage in illegal fishing, we are conducting education activities)

外来魚類をシヤっています (We are catching Invasive Species)

協議会が作成したチラシ (Flyer created by the Association)